

# 3月議会 施政方針

第412回 市議会定例会 2月28日

しごと創生総合戦略」の策定を進めており、子育て支援の強化による合計特殊出生率のさらなる引き上げと、移住促進等による人口の社会増の実現によって、2060年に人口41,500人を目指すという第1期の目標を維持することとしました。また、これを実現するための「まち・ひと・しごと創生総合戦略」については、さらなる魅力的な地域の実現に向け、これまでの取組を強化し進める内容としており、令和の時代の南国市が、「若者が希望を持ち、誰もが安心してくらすことのできるまち」となるよう、各事業に取り組みます。」と市政運営に対する所信を述べました。

令和2年度の主要な施策について、あらましを紹介します。

平山耕三市長は、2月28日開会の第412回市議会定例会で各議案の提案説明に先立ち、「本年は、わが国で約半世紀ぶりの夏季オリンピック・パラリンピックとなる東京2020大会が開催されます。本市でも、4月21日に聖火リレーが実施されるほか、7月にはシンガポールバドミントン選手団の事前合宿が予定されています。これらを契機に、市民の皆様のスポーツに対する関心が高まるとともに、スポーツを通して心身ともに健やかな暮らしを実現する機運が醸成されることを期待します。

平成27年度から国をあげて取り組む「まち・ひと・しごと創生」については、国及び高知県においても令和2年度以降5年間の第2期に向けた検討が進むなか、本市においても第2期「南国市まち・ひと・

## 財政状況

一般会計予算は、幼児教育・保育の無償化等による民生費の増や公民館・体育施設の非構造部材耐震化工事に伴う教育費の増を見込む一方、街路事業高知南国線整備事業費等の土木費が大幅に減少することから、総額で対前年度3億4千万円減の23億4千万円となっています。市債の発行見込額は、対前年度約1億4千万円増の31億8千210万円となり、今後も都市再生整備事業、篠原土地区画整理事業及び国営ほ場整備事業等の大型事業の実施を予定しており、市債残高の増加による公債費負担の増加が予想されることから、これまでの行財政改革の方針を踏まえ、経常経費の節減を図るとともに、健全な財務体質の確立に向け、さらに改革に取り組んでいきます。

## 野良猫の増殖防止

野良猫の増殖を防ぎ、やむを得ず殺処分される不幸な猫をなくすことを目的に、雌猫の不妊手術等への新たな補助制度の導入を予定しています。

## 学校教育

教育大綱を策定

教育大綱「南国市教育振興基本計画」を改訂し、「かがやく明日への人づくり」を基本理念として、学校教育と社会教育を両輪として取り組んでいきます。また、学校教育については、「六育」(智・徳・体・食・才・防)を重点施策として取り組み、基本理念の実現を目指します。学校の環境整備については、設置数の少ない小学校からトイレの洋式化を計画的に進めるほか、ICT環境整備を進めるため国から示された「GIGAスクール構想」に沿って、校内LANの整備や1人1台のパソコンの整備を行っていきます。

## 後期高齢者医療保険

フレイルに着目した健康診査を開始

健康寿命の延伸を目指して、新たにフレイルに着目した健康診査を開始します。保健事業や健診の受診勧奨など、高知県後期高齢者医療広域連合と連携し、被保険者の健康増進と医療費の適正化に努めます。

## 街路防犯灯のLED化

国や業界団体の街路防犯灯用器具の生産終了方針により、今後、従来器具の入手が困難になることが予想されることから、市が所有する街路防犯灯のうち、LEDに変更できていない低電力の「公衆街路灯A」契約分を、リース契約により一括してLED化することを予定しています。これにより、電気料金の低減やCO2排出量の大幅な削減につながるものと考えています。

## 第4次南国市障害者基本計画

平成27年3月に、5カ年計画として「新なんこくフライトプラン」第3次南国市障害者基本計画」を策定し、障がい者のあらゆる分野への完全参加と平等の実現を目指し取り組んできました。現在策定中の第4次南国市障害者基本計画においても、アンケート調査等の実施により障がいのある人の実情やニーズを把握し、障がいがある人が障がいのない人と同じように暮らせる社会の実現に向けて、取組を進めます。

## 国民健康保険

医療費については、令和元年度は例年と同様の伸び率に収まっており、令和2年度については、被保険者の負担を変えることなく運営を行うこととしていきます。ただし、今後高齢化による医療費の伸びが予想され、特定健診の受診勧奨やジェネリック医薬品の普及など、医療費の適正化に向けた取組を継続していきます。

## 介護保険

ニーズ調査を実施

令和3年度から3年間を計画期間とする第8期南国市高齢者福祉計画及び介護保険事業計画の策定に取り組みます。計画に地域の実情を反映するため、65歳以上の高齢者を対象とした「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」を実施し、高齢者が住み慣れた地域で安心して生活を継続できる施策を実施していきます。

## 子育て支援

あけぼの保育所において、0歳児保育を開始します。放課後児童健全育成事業については、十市小学校の学童クラブに続き、岡豊小学校の学童クラブの改築を予定しており、児童の健全育成のための環境づくりに引き続き努めます。

## 浸水対策

明見地区雨水排水ポンプ場

明見地区浸水対策については、令和2年度供用開始を目指し、雨水排水ポンプ場の機械・電気設備の整備を、引き続き、実施します。

## 社会教育

(仮称)中央地域交流センター及び新図書館建設

(仮称)中央地域交流センターについては、令和2年度は建設工事を発注し、令和3年度中の竣工に向けて整備を進めます。新図書館の建設については、基本設計・実施設計を、多方面から意見を頂きながら、進めます。

## 地籍調査事業

3地区で二筆地調査を実施

令和元年度末の進捗率は23パーセント前後となる見込みで、平成30年度末の県全体の進捗率56パーセントと比べると、まだまだ遅れた状況です。令和2年度については、大改野地区、岡豊町中島地区、及び十市地区の3地区で筆地調査を実施することを予定しています。

## 住民票・印鑑証明書のコンビニ交付

3月2日、コンビニエンスストアでのマイナンバーカードを利用した住民票と印鑑証明書の交付サービスを開始します。近くのココンビニで、休日や時間外でも利用が可能となります。

## (仮称)ものづくりサポートセンター

地域活性化の拠点施設となる(仮称)ものづくりサポートセンターについては、建築工事が順調に進んでおり、多くの観光客と市民に来ていただけるよう、準備を進めていきます。また、センター整備の効果を周辺地域に波及させるため、南国市中心市街地振興協議会において地域の方々と共に、地域の賑わいを創出する取組を継続していきます。

## 5年に1度の国勢調査

本年10月には、5年に1度の国勢調査が実施されます。この調査は、日本国内に住む全ての人と世帯を対象として実施する、国の最も重要な統計調査です。実施に向けては、市民の皆様に調査への全面的な協力をいただくとともに、全庁的な調査実施体制として実施本部を設置し、適正かつ正確な調査に努めます。

## 老朽住宅除却と空き家活用の推進

これまで津波浸水予測区域における老朽木造住宅に対して除却費の一部を助成していた補助の対象区域を市全域に拡大し、市民が安全で安心して暮らせる生活環境づくりを推進します。また、空き家対策については、住宅課を新設することにより体制を強化し、活用促進事業を推進します。

## 予防接種

ロタウイルスのワクチンが定期接種の対象となりました。ロタウイルスは、乳幼児の重い胃腸炎の原因になるもので、感染力が強く、5歳までにほぼすべての子どもが感染するといわれています。定期接種により免疫のない子どもの重症化予防を推進したいと考えています。

